

神奈川県民医連・震災支援ニュース

NO.39 2011年4月14日 神奈川県民医連事務局発行 電話 045-320-6371 kenren@kanamin.or.jp

余震でまた停電・断水

福島・小名浜生協病院支援リポート(川医協・森、川口)

小名浜生協病院への看護師支援ダイヤが関東地協で組まれています。4/11川崎医療生協から2名の看護師が現地入りしました。

小名浜生協病院のある「いわき市」は人口約34万人。震災・津波被害と原発事故により3~5万人程度の方が県外へ避難したと言われています。

福島第一原発からの距離は53km。地域住民には緊張感が漂っています。市内では数カ所の病院が閉鎖しています。職員のなかには、津波と原発の関係で避難した方、あるいは一度避難したものの、家族を残して戻ってきた方もいます。家を津波で流された職員もいて、ストレス要因も重なっています。



<森晋二さん(看護師)報告>

初日 4/11(月)は小名浜で震度6の余震があり、人生40年で一番大きな地震を経験した。TVが落下し、電気も一時途切れ、断水も1日あったため、病棟で水くみなどを行った。配置は療養病棟の担当となった。半数が経管栄養の方で、震災前からの入院患者であった。非常に緊張した1日であった。

支援者用として借り受けたアパートも初日は断水となった。小名浜の看護師(男性)から、「自分のところは断水になっていないので、フロに入っていいよ」と言われ訪問することになった。迎えにはもう一人の職員が来てくれ、一緒に看護師(男性)宅へ訪問し、食事とフロをごちそうになった。初日から仲間との交流ができ、身も心も温まった。

<川口郁代さん(看護師)報告>

月曜日は、急性期病棟(呼吸器)に配置された。しかし、自分自身が39.2度の熱発となり、処置室で安静、インフルエンザの検査を行った。そこへ窪倉副会長が来て「あなた、…(中略)…、明日からがんばってね」と励ましの檄をいただくことになりました。火曜日からは元気に奮闘中(「…のハズです」と木下看護部長より)。

※ 小名浜生協病院は、4/14 昼には、水道も復旧しました。浜通り医療生協のホームページには、地震の影響や、支援の状況などが書き込まれています。 (<http://www.hamadori-coop.jp/houjin.html>)

「わたしと民医連」表彰式 県連教育委員会



34年間の思いを綴った笠原由美子さんの論文が他の2名の方とともに優秀賞を受賞。県連副会長・原医師から表彰状が手渡されました。(久地診療所にて)

今、全国各地の「民医連」が東北を支援しています。皆さんも職場で、地域で、「わたしと民医連」を語ってください。

■神奈川県民医連 義援金受付窓口■

【銀行名】三井住友銀行
【支店名】横浜駅前支店
【名義】神奈川県民医連 災害基金
 事務局長 藤井 朗
【口座番号】普通 7472438

※振込みは法人単位でまとめて下さい。
ご協力をお願いします。